資料 1

市民アンケート調査結果（速報）

1. はじめに

（1）調査目的

次期輪島市総合計画を策定するにあたり、まちづくりに関する意見を聞く機会として、また、行政へのニーズや現行計画に対する評価等を把握するため。

（2）調査概要

■調査対象：輪島市に住民登録がある全世帯　※令和 8 年 9 月 18 日時点
■調査期間：令和 8 年 9 月 28 日（月）～10 月19日（月）
■調査方法：アンケート調査票の郵送　※Web 回答にも対応
■配 布　数：9,760 世帯（うち、宛先不明で返送：297 通）　※9,463 通

（3）回答状況

■郵送による回収 ：2,683 通（世帯）
■Web による回収：745通（世帯）
■合計　　：3,428 通（世帯）
■回収率　　：36.2%　※10 月 19 日（月）時点
※本項以降の内容は、10 月 14 日（水）時点の Web による回収分（650 通）を基に集計

（4）集計結果の留意点等

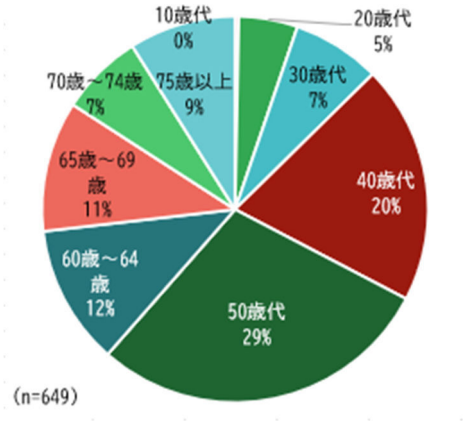
・集計結果のパーセントは、合計値が四捨五入の関係で 100%とならい場合がある。
・標記のスペース上、煩雑になることを避けるため、5%未満の値を省略したものがある。
・グラフ等における（n=〇）は、各設問の回答者数を示している。

2. 調査結果

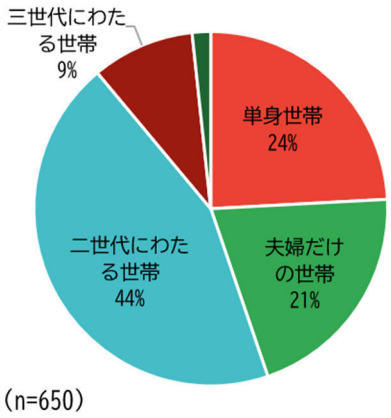
(1)回答者属性

・年代　　：50歳代の割合が29%で最も多い。
・家族構成　　：『二世代にわたる世帯』『三世代にわたる世帯』で半数を超えている。
・職業　　：『公務員・団体職員』が23%で最も多い。
・現在の住まい：『市内』が92%である。

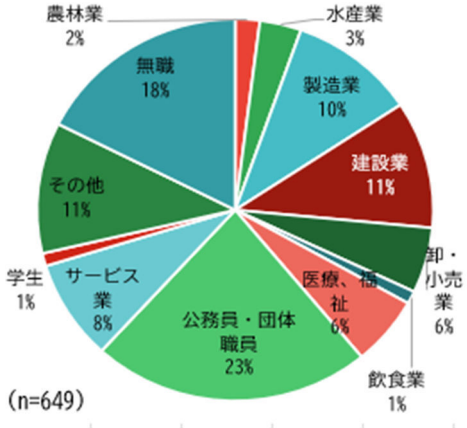
［年代］



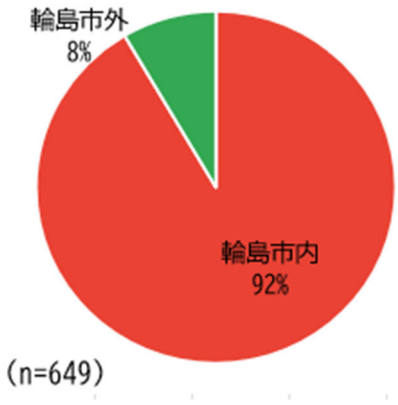
［家族構成］



［職業］



［現在の住まい］

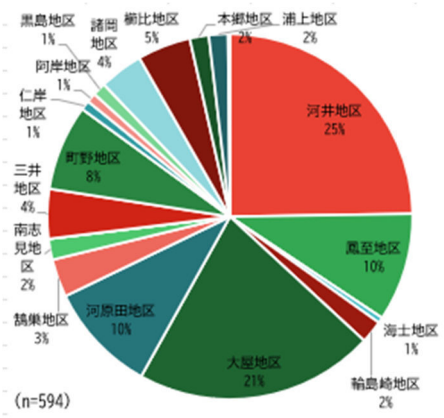


(2)住まいについて

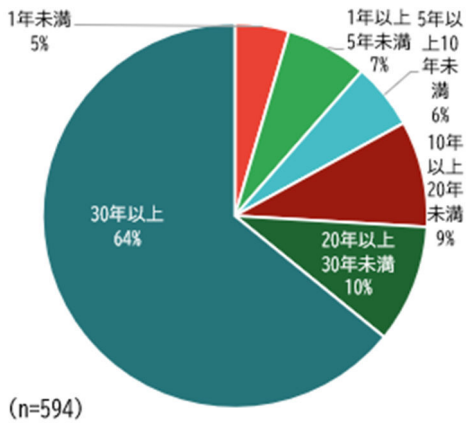
■輪島市内にお住まいの方

・地区　　:『河井地区』が25％で最も多い。
・居住年数　:『30 年以上』が半数以上である。
・きっかけ　　:『U ターン』が44％で最も多い。
・今後の居住　:『住み続けたくない』が44％である。

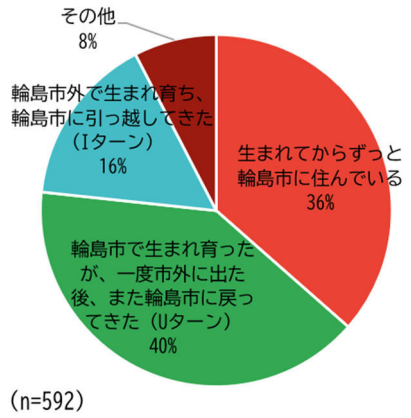
［地区］



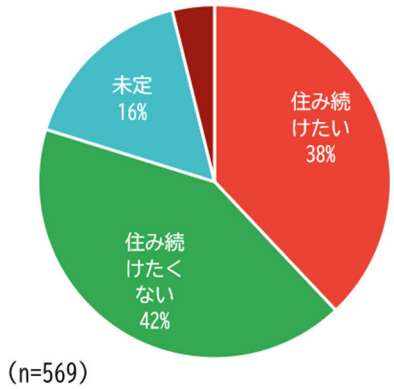
［居住年数］



［きっかけ］



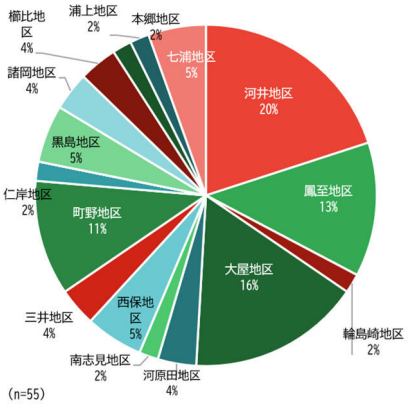
［今後の居住］



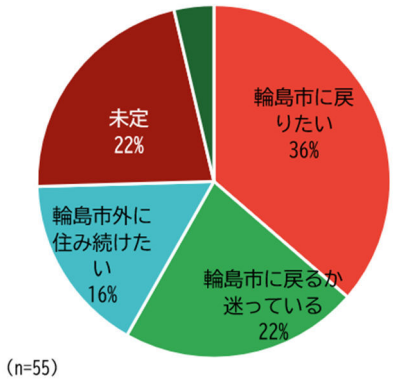
■輪島市外にお住まいの方

・地区　　:『河井地区』が20%で最も多い。
・今後の居住　:『輪島市に戻りたい』が38%で最も多い。
・重視すること:『買い物や生活が便利か』『道路、橋、公共施設などのインフラが整備されているか』が同率で60%である。

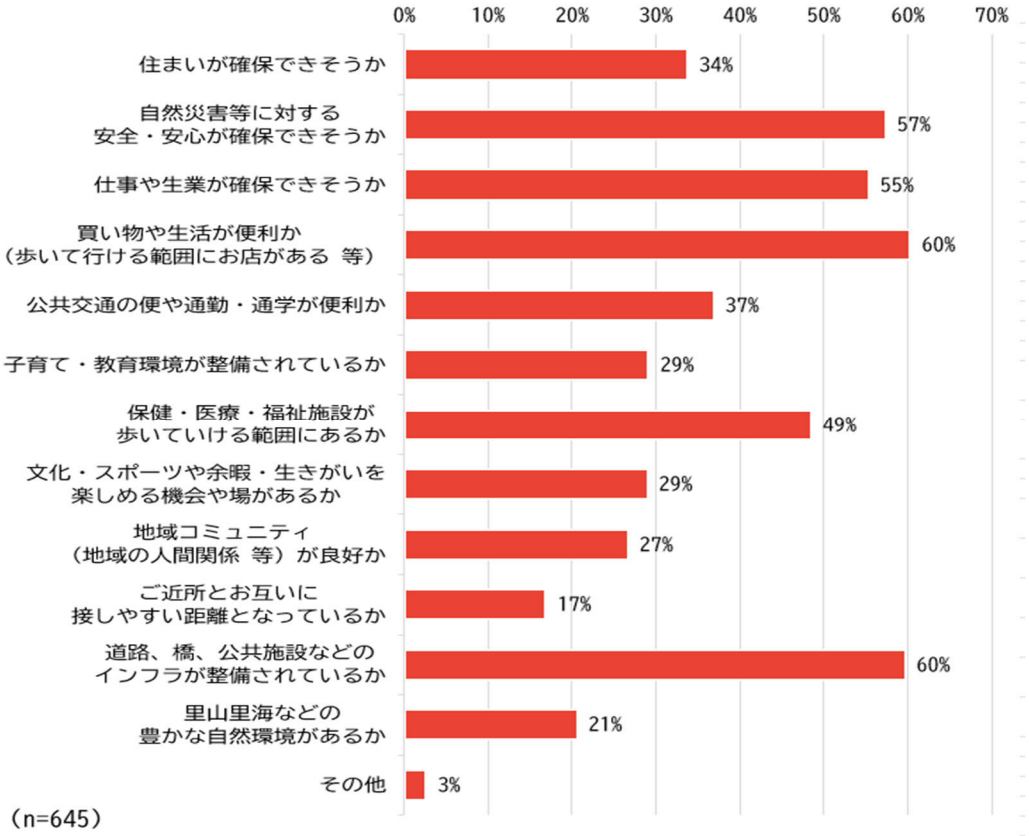
［地区］



［今後の居住］



［今後の居住で重視すること］

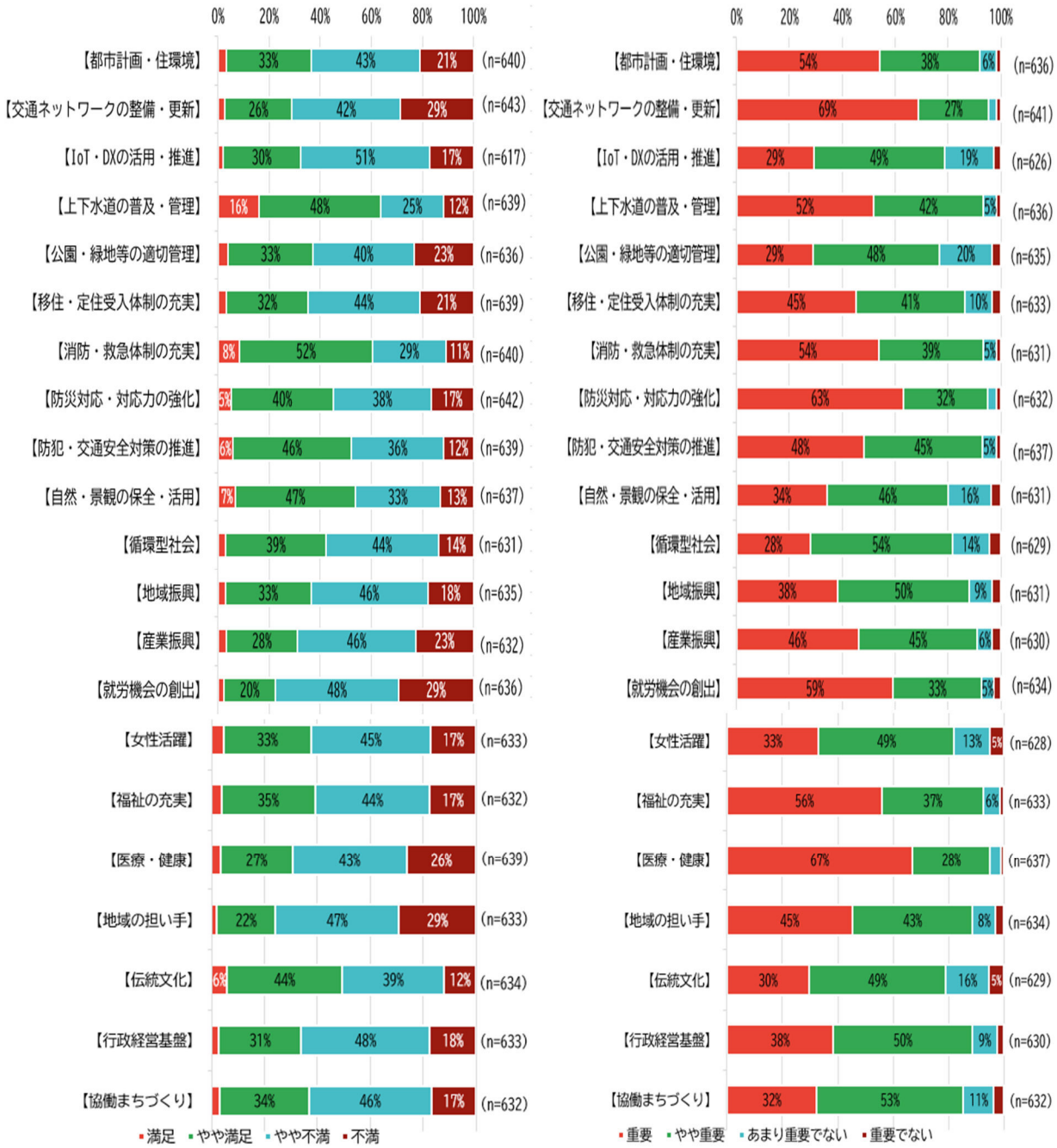


（3）現行施策・取組について

■各種まちづくり

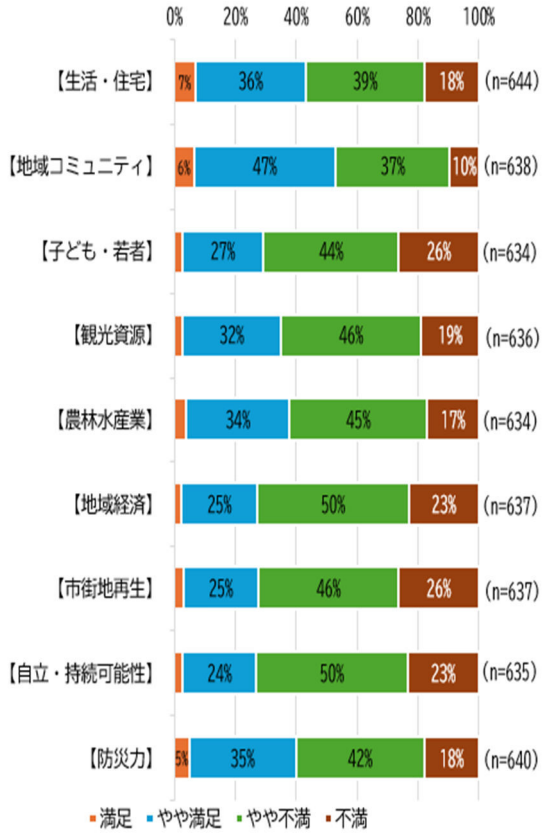
・現在の満足度：『上下水道の普及・管理』が64％で最も多い。次いで、『消防・救急体制の充実』『自然：景観の保全・活用』が続く

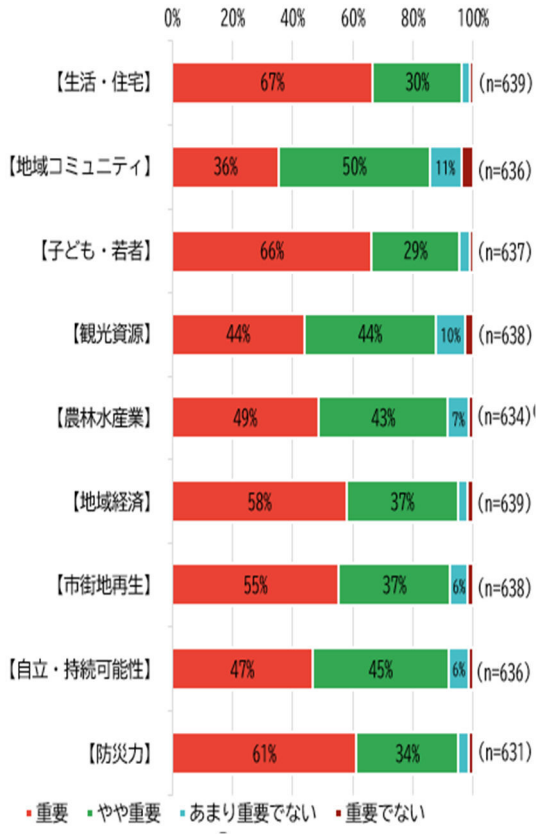
・今後の重要度：『交通ネットワークの整備・更新』が69％で最も多い。次いで、『医療・健康』『防災対応・対応力の強化』が続く。



■復興まちづくり

・現在の満足度:『地域コミュニティ』が満足・やや満足を合わせて 53%と最も多い。
・今後の重要度:『生活・住宅』が67%で最も多い。次いで、『子ども・若者』『防災力』が同率で続く。

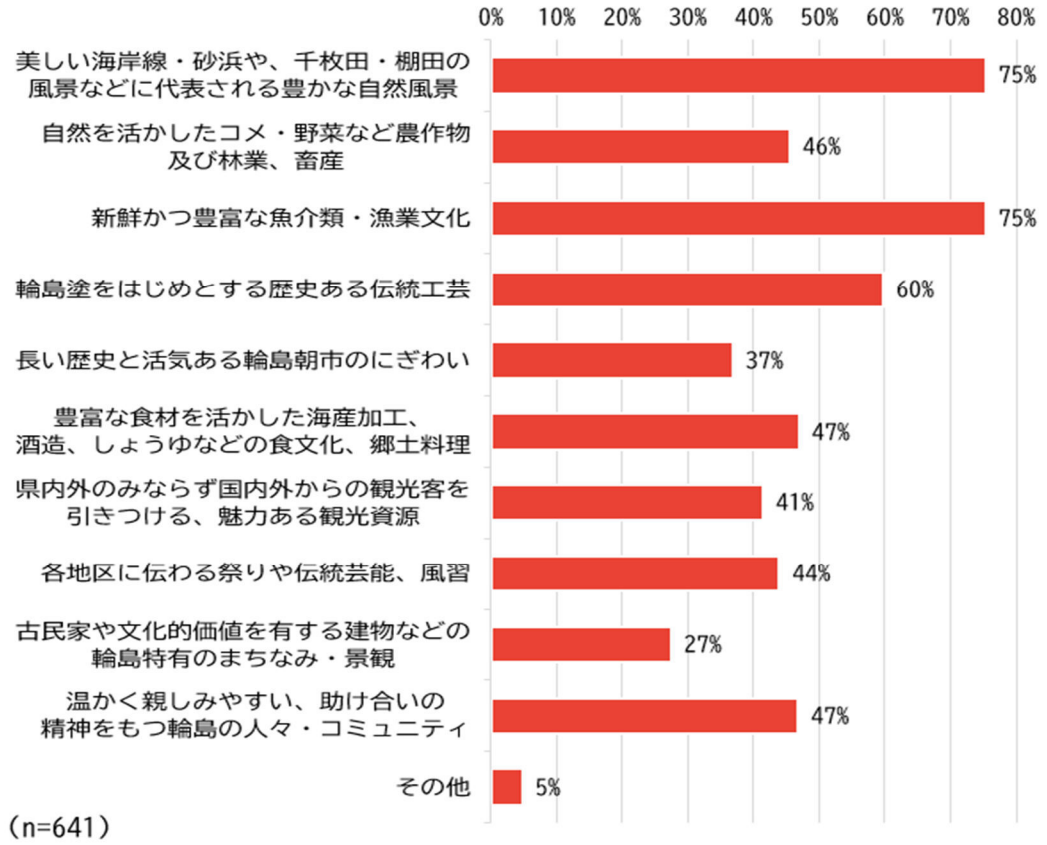




(4)今後のまちづくりについて

■良いところ・素晴らしいところ

・『美しい海岸線・砂浜や、千枚田・棚田の風景などに代表される豊かな自然風景』『新鮮かつ豊富な魚介類・漁業文化』が同率で75%と最も多い。



■自由意見

・回答数：189　※「特に無し」、「なし」等の記載除く

主な回答の内訳

項目	概要	回答数
行政の対応への要望	・積極的な情報公開や意見交換の要望、復興スピードの遅さに対する不満　など	43
子育て・教育・若者支援	・子どもの遊び場（屋内施設・大型公園）の充実、教育環境の格差解消、若年層・子育て世代の流出防止、婚姻・婚活支援　など。	22
交通インフラ	・生活道路や幹線道路の早期復旧、段差解消、金沢などの都市部や近隣市町との交通アクセスの向上、公共交通（バス）の路線回復　など。	20
伝統産業の振興	・輪島塗や朝市の再建、漁業・農業への就農・再建支援、一次産業の担い手不足対策　など。	17
住宅再建支援	・自宅再建にかかる費用高騰への補助・助成の拡充、仮設住宅から災害公営住宅への移行、空き家やシェアハウスの有効活用　など。	14
観光振興	・魅力的な道の駅の新設・リニューアル、イベントによる誘客　など。	13
生活インフラ	・上下水道や雨水排水の早急な整備、街が暗いため外灯や防犯カメラの設置、防災備蓄品や避難場所の確保　など。	11
商業施設の誘致	・大型商業施設やチェーン店の誘致、娯楽施設の復活、日常の買い物の不便さ解消　など。	11
医療・福祉	・持病があっても安心して暮らせる医療体制、統合病院の機能充実（分娩機能などへの不安）、高齢者の移動手段や福祉介護職の待遇改善など。	10
その他	・地域コミュニティ、環境対策　など	28